

図書館だより

No.172



2009(平成21)年6月30日発行

編集・発行 福島県立図書館

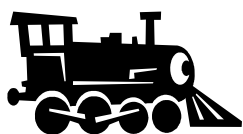
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

この夏、県立図書館が新館オープン25周年を迎えます

県立図書館は、今年の7月で現在の新館になってからちょうど25年目になります。この節目を記念し、図書館では以下の2つのイベントを企画しました。涼みがてら気軽に足をお運びください。



かつて県内の経済や産業を支え、地域の足として活躍した鉄道の数々を、所蔵資料の中から紹介します。あわせて、ロビー展示「懐かしい鉄道風景～若林健二写真展～」(7月3日～8月5日)も行います。

◆期間:平成21年7月3日(金)～9月30日(水)

◆場所:当館展示スペース

また、この展示にちなみ、「旅を二度楽しむ」と題し、JR 東日本福島駅・駅長である三浦文志さんの講演会を開催します。鉄道を利用した旅の面白さ、楽しさが味わえる内容となっています。参加は無料ですので、お気軽にご参加ください。

◆日時:平成21年7月5日(日)14時～15時30分

◆場所:当館3階 第一研修室

◆お問合せ先:県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム

TEL:024-535-3218

*事前の申込み等は不要です。



ERJ世界の絵本展

県立図書館が所蔵する、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語など、世界各国の絵本約200点を展示します。

また、併せて英語をはじめ、原語による絵本の読み聞かせも実施します。

◇期間:平成21年7月22日(水)～24日(金)

◇お問合せ先:県立図書館 資料情報サービス部 児童資料チーム

TEL:024-535-3218

以上2つの他にも、バラエティー豊かなイベントをご用意しております。この夏も県立図書館をぜひご利用ください!(各イベントの詳細については、県立図書館のホームページ、チラシなどで確認できます)

・「衛生学・予防医学講演会」平成21年7月4日(土)

・美術館・図書館連携「アートなおはなしかい」平成21年7月25日(土)

・連携講座「ライフプランと税金についてー知って得する税知識ー」平成21年7月25日(土)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『ムーミン画集 ふたつの家族』

トーヴェ・ヤンソン／絵・文 講談社 726.5/ヤ093

愛嬌のあるぽてっとした姿に、思わず笑みがこぼれます。144点に及ぶムーミンの絵は、眺めているだけで心が和んでしまうのではないのでしょうか。

また、本書ではさまざまな絵とともに、作者であるヤンソンの写真・言葉も掲載されていて、画集として楽しむだけではなく、作者を知り、作品と作者の物語を感じることができる1冊となっています。

ページをめくるごとに違う表情を見せるムーミンを楽しみながら、作者ヤンソンの心にも思いをはせてみてはいかがでしょうか。

『民話が語る自然科学』

宮橋裕司／著 慶応義塾大学出版会 404/ミ094

古くから伝わる民話には、その土地に根ざした自然の姿がうつし出されているものです。この本では日本各地の民話を紹介しながら、自然科学の視点でその内容を読み解いていきます。

福島県からは会津地方の雪に関する民話が登場。民話とともに郷土の自然もわかる、お得な1冊です。

社会

『証言記録 兵士たちの戦争』(シリーズ)

NKH「戦争証言」プロジェクト／著

日本放送出版協会 210.75/ニツ092/1~

太平洋戦争終結より60年あまりが経過し、戦争体験者の高齢化が進んできています。

このシリーズは、各県にあった設置部隊(郷土部隊)に所属して戦場に赴いた人々の声を収集、放送しているNHK・BSの同名ドキュメンタリーをまとめたものです。

現在2巻まで刊行され、以後続巻の予定です。

番組公式HP <http://www.nhk.or.jp/shogen/>

『犯罪からの社会復帰と

ソーシャル・インクルージョン』

日本犯罪社会学会／編

現代人文社 大学図書(発売) 326.56/ニホ091/

犯罪に関わった人の社会復帰のためには何が必要なのか—ヨーロッパ諸国の社会的な動きから生まれた、家族や地域社会などの組織から孤立してしまったり人々をもう一度社会の中に取り込もうとする政策理念=ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)を視点のひとつとし、その問題克服のための考察を行います。

同学会2007年公開シンポジウムでの論議を発展させた論文集です。

雑誌・新聞

今回は、新聞コーナーに新しく登場した新聞についてご紹介します。

『日経ヴェリタス』日本経済新聞社 毎週日曜発行

『日経ヴェリタス』は、日本経済新聞社によって2008年3月に創刊された投資金融情報誌です。

世界の金融最前線取材している専門記者による生きのいいニュース、そして深く掘り下げた分析記事が売り物で、週刊ならではのボリュームの多さも魅力の一つといえます。また、インターネット上の購読者限定サイトと本誌の組み合わせによって常に最新の情報を入手することが可能です。当館では、こちらのサイトも専用のパソコンでご利用いただけます。

世界的に厳しい不況が続いています。このような中でチャンスを掴み取る一助として、『日経ヴェリタス』をご利用いただければ幸いです。

『日経ヴェリタス』の配置場所は、以下の通りです。

本誌……………公開図書室・ビジネス関係雑誌コーナー近くの新聞架

専用サイト…公開図書室・データベース用パソコン(調査相談カウンターまでお申し込み下さい。)

地域

『新たなる北へ 会津屯田兵の物語』

若林滋／著 中西出版 L913.6/W18/1

明治7(1874)年に制度が創設され、北海道の警備と開拓にあたった屯田兵。その募集に応じて琴似(現札幌市)に入地した旧会津藩士・三沢毅の小説的伝記。

詳細な調査をもとに、北海道開拓という側面から語られるもう一つの明治史を繙いてみませんか。

『日本の発見 朝河貫一と歴史学』

矢吹晋／著 花伝社、共栄書房(発売) L289/A7/76

明治6年、旧二本松藩(現二本松市)に生まれ、東京専門学校(現早稲田大学)に学び、後に世界的歴史学者となった朝河貫一。古代史や日本の封建制度を中心にその歴史学について解説した一冊です。

『四季・花見山彩彩 魅せられて・癒されて』

渡邊政一／著・発行 L748/W7/2

近年、お花見の名所として、シーズンには30万人近い観光客で賑わう花見山公園。その四季を様々な角度からとらえた写真集です。

春の桜はもちろんのこと、初夏の空に映える青葉、水辺を艶やかに飾る紫陽花、凜とした佇まいの蓮、白く可憐な南天の花、陽に輝く錦秋の山肌、雪をのせて咲く梅……などなど、春以外の季節にもたくさんある美しい“彩”を、ぜひご覧下さい。